

令和5年12月20日
生活文化政策部
区民健康村・ふるさと・交流推進課

国士舘大学との連携・協力に関する包括協定締結について

1 主旨

区は総合戦略の基本目標にある「地域人材と社会資源を活用した活力ある地域社会の構築」の実現に向け、各大学の持つ専門性や地域資源を活かしながら、各大学と相互に連携・協力するネットワークの強化を進めている。

区と国士舘大学は、これまでも各々がもつ資源や特色を活かしながら様々な事業を実施しており、今後も一層連携・協力した取組みを進めるため包括協定を締結する。

2 経緯

国士舘大学は世田谷区役所に隣接し、防災・救護に関する連携、せたがやふるさと区民まつりや災害時における避難所としての施設利用、区立小中学校への学生派遣をはじめとした教育機関との連携事業や地域イベントの実施など様々な分野において連携事業を実施している。こうした中で、より強固な関係づくりとさらなる地域協働事業等の充実・発展を目指すため、区に対して協定締結の要請があった。

3 協定の内容及び期待される取組み

(1) 主な内容

- ① 人的交流の促進
- ② 知的・物的資源の相互活用
- ③ 調査研究及び事業の共同実施

(2) 期待される取組み

- ① 世田谷区民と学生との交流の継続・発展
- ② 防災に関する多様な取組み
- ③ 特別支援教育に関する取組み

4 協定締結等

(1) 相手方

国士舘大学（世田谷区世田谷4丁目28-1）

代表者 国士舘大学 学長 佐藤 圭一

(2) 協定名

「国士舘大学と世田谷区との連携・協力に関する包括協定書」

(3) 有効期間

覚書締結の日から5年間とする。

ただし、有効期間が満了する日の1箇月前までに異議の申し出がないときは更に5年間延長とする。

(4) 協定締結日

令和6年2月9日

5 連携・協力実績

別紙1のとおり

【参考】

○国士舘大学の概要

学生数：12,398人（令和5年5月現在）

特 色：『国士』養成を建学の理念として1917年に私塾として創立して以来、四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」の涵養を教育理念に掲げている。世田谷と町田、多摩の3キャンパスに7学部14学科・10研究科を持つ総合大学。

○これまでの包括協定締結大学 12大学（学部）

締結日	大学名	締結日	大学名
平成26年5月28日	昭和女子大学	平成28年5月19日	産業能率大学
平成26年6月20日	日本体育大学	平成29年5月19日	日本大学スポーツ科学部
平成26年7月25日	日本女子体育大学	平成30年7月2日	日本大学文理学部
平成27年3月30日	東京都市大学	令和2年3月16日	駒澤大学
平成27年7月7日	成城大学	令和4年3月14日	東京農業大学
平成28年3月29日	明治大学	令和4年12月6日	テンプル大学ジャパンキャンパス

国士館大学と世田谷区との連携協力に関する実績（平成30年度～令和4年度分）※新型コロナウイルス感染症により中止している事業があります。

①【人的交流の促進に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
1	世田谷246ハーフマラソン	世田谷246ハーフマラソン実行委員会と世田谷区陸上競技協会の主催により、毎年11月に行われるマラソン大会。ハーフマラソンと健康マラソンの5kmと2kmが実施される。ペースセッター、救護活動のほか運営ボランティアとして各大学の協力を得ている。	AED隊（沿道救護）
2	みどりと花いっぱい協定	協定を締結した大学の学生が国士館坂沿いのプランターの植付けや水やり、草取りなどの日常管理を実施。	【令和元年度～】 国士館坂沿いのプランターの日常管理を学生が実施
3	メンタルフレンド派遣事業	学校への不適應を示し、家に閉じこもりがちな児童・生徒の家庭に兄や姉のように接するボランティアを派遣し、自主性の伸長や社会性の発達を促す。	【平成30年度～】 国士館大学の登録学生を派遣
4	日本語教育における学生派遣試行	帰国・外国人教育相談室の水曜教室及び土曜教室に留学生が訪問。児童生徒の学習サポートを行う。	【令和4年度】 4名の留学生が訪問

②【知的・物的資源の相互活用に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
1	せたがやふるさと区民まつり	せたがやふるさと区民まつりの区役所周辺での開催に伴い、国士館大学の敷地（正門付近・メイプルセンチュリーホール前）の使用及び後援	【平成30年度・令和元年度・令和4年度】 国士館大学敷地（正門付近・メイプルセンチュリーホール前）の使用及び後援名義の使用
2	災害時における協力体制に関する協定書	災害が発生した場合に、避難所として大学施設の一部の利用や学生・教職員ボランティア派遣等、区民、在学在勤者等の安全確保、生活復興等の応急対策を迅速に推進するための協定を締結している。	【令和3年度】 国士館大学と区で細目の内容について確認。
3	災害ボランティアマッチングセンター等に関する協定書	災害が発生した際に、ボランティアマッチングセンター等を大学施設に設置する協定を締結している。	【令和元年度】 令和元年9月14日に、国士館大学34号館B-303教室、サンクンガーデンにて講義と模擬訓練実施。4名の学生参加。 【令和4年度】 令和4年9月10日に、国士館大学34号館B-304教室、サンクンガーデンにて講義と模擬訓練実施。5名の学生参加。
4	夏季教科等研修	区立小中学校教員の研修会場の提供	【平成30年度】 平成30年8月20日から8月24日まで教員研修実施 武道のみ国士館大学を使用 【令和元年度】 令和元年8月19日から8月27日まで教員研修実施 武道のみ国士館大学を使用

No	事業名	事業概要	連携実績
5	大学等教育機関との連携	基本協定に基づき「区内大学と世田谷区教育委員会との教育活動等支援事業に関する覚書」を締結し、区立幼稚園、区立小・中学校の教育活動等支援のための学生派遣事業を平成17年9月より開始。派遣対象となる教育活動 ①学級運営の支援、②学校行事等への支援、③部活動における技術指導、④配慮を要する児童・生徒への支援	【平成30年度～】 学級運営の支援、学校行事等への支援、配慮を要する児童・生徒への支援、部活動における技術指導へ学生が参加。
6	世田谷リカレント学習連携事業	各大学で実施される公開講座の情報を冊子に取りまとめ、区民へ配布し周知する。また、各大学で実施される公開講座のうち、4講座程度をリカレント学習連携講座として指定し、区報で周知する。そのほか、各大学で実施される公開講座・講演会等の開催案内のチラシ・ポスター・パンフレット等を区内施設に配布。 (令和2年度より) 各大学で希望する公開講座情報を年1回、区報で周知する。ホームページには随時掲載。 そのほか、各大学で実施される公開講座・講演会等の開催案内のチラシ・ポスター・パンフレット等を区内施設に配布。	【令和元年度】 公開講座情報誌を春期、秋期ともに1,100部発行 令和2年3月No.44をもって終了 区のおしらせ4月1日号、9月15日号にリカレント学習連携講座の情報を掲載。 【令和2年度】 ホームページをリニューアル 区ホームページに大学が実施する公開講座情報の掲載開始（大学から情報提供があり次第随時更新）。 【令和3年度】 区のおしらせ3月15日号に世田谷区リカレント学習推進講座の情報を掲載 大学の公開講座チラシを区内施設に配架 区ホームページに大学が実施する公開講座情報を掲載（毎月更新の他、大学から情報提供があり次第随時更新） 【令和4年度】 大学の公開講座チラシを区内施設に配架 区ホームページに大学が実施する公開講座情報を掲載（毎月更新の他、大学から情報提供があり次第随時更新）
7	せたがやeカレッジ	区内6大学と世田谷区教育委員会で連携し、インターネットを活用したeラーニングサイトを運用。参加大学の特色あるコンテンツを作成し、区民等に学習の機会を提供する。また、公開講座を実施し、せたがやeカレッジを広く周知するとともに、学習の機会を広げる。	【平成30年度】 9月18日に公開講座「酒造りにみる先人の知恵と技」を開催 約300名が来場 会場：国士館大学多目的ホール 10月1日よりウェブサイトを更新し、講座を公開中。 リニューアルに併せてチラシを2100部作成し、大学・教育委員会で配布。 せたがやeカレッジHP公開講座 【平成30年度】 平成30年9月14日「中国の知識人と近代日本」 その他2講座 計12講座公開 平成30年9月21日「世界遺産 日本の現状とこれから」第1回～第4回 平成30年10月1日「災害情報が命を救う」第1回、第2回 【令和元年度】 令和元年11月8日「大久保利通と明治国家」 令和元年11月12日「西南戦争と党薩熊本隊～明治保守政党への胎動～」 【令和2年度】 令和2年9月4日「自助から始める防災」 令和3年1月15日「江戸時代初期の日中文化交流～『隠元』というカルチャーショック～」 【令和3年度】 令和4年1月13日「応急手当 実践講座」第1回～第3回 令和4年3月28日「東雲の時代の女性たち～ヒメミコから女帝へ～」 【令和4年度】 令和5年3月7日「義経伝説と能」第1回～第2回 令和5年3月7日「最後の遣唐使～つながる東アジアと古代日本」第1回～第3回
8	大学図書館の区民利用	基本協定に基づき「区内大学と世田谷区教育委員会との大学図書館の世田谷区民の利用に関する覚書」を締結し、専門書等について、大学図書館の区民利用を進めている。	【平成30年度～】 世田谷区民の利用実績あり。

No	事業名	事業概要	連携実績
9	災害時及び新型コロナウイルス感染症等感染症対応における保健所との協力体制に関する協定	世田谷区内において災害（台風等による風水害も含む。以下同じ。）及び新型コロナウイルス感染症等感染症（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年10月法律第114号）第6条第7項から第9項に規定する感染症をいう。以下同じ。）対応が発生した場合において、区民、区内在学在勤者等（以下「区民等」という。）の生命及び健康を確保するため、災害発生時及び新型コロナウイルス感染症等感染症対応に関する協力に関し、協定を締結する。	【令和3年度】 令和4年1月7日に協定を締結し、1月11日より新型コロナウイルス感染症に関する保健所業務を支援 【活動人数】 国士館大学：延べ107名 【令和4年度】 新型コロナウイルス感染症が感染拡大した令和4年7月23日～8月31日及び令和4年12月10日～令和5年1月21日に、国士館大学より保健所業務を支援 【活動人数】 国士館大学：延べ89名
10	世田谷プラットフォーム事業「ビジネスキャリアデザイン講座Ⅰ」	世田谷プラットフォーム協定6大学（国士館大学、駒澤大学、昭和女子大学、東京都市大学、東京農業大学、成城大学）が協働し、若手ビジネスパーソン向けの無料オンデマンド講座を開講。将来マネージャー層として活躍するために必要と思われる知識を学べる講座をリレー形式で配信した。	【令和3年度】 令和3年9月15日開講 ・経済動向入門 講師 貴名 貴洋 国士館大学（政経学部） 【令和4年度】 令和4年9月開講 ・経済データ分析入門 講師 貴名 貴洋 国士館大学（政経学部）
11	産業創造プラットフォーム“SETAGAYAPORT”	10年後の区内産業を支える世代（20～40代）を中心に、区内の多様な企業・スタートアップ・フリーランス・プロボノ・大学・金融機関など異業種により構成される産業創造プラットフォームを構築し、地域経済を活性化する。社会課題や地域課題の解決、事業者間の連携、新たな事業の実施や社会起業家を育成する取組みを実施。	【令和4年度】 SETAGAYAPORT YOUTHとしてSETAGAYAPORTの主催する複数のイベントのスタッフ、ボランティアとして区内大学生が参加。
12	世田谷区学生交流プログラム	産学官連携の活動組織である世田谷プラットフォームキャリア部会の取り組みとして実施している「世田谷区学生交流プログラム」に職員が出席している。プログラムは1年生を対象に、大学間での学生交流や、行政・社会人の講話を通じて、大学で学ぶ意義やこれからのキャリアについて考えることを目的に実施している。世田谷区との連携では「人々のアップデートのためにどんな学びの仕組みがあったらよいか」を課題としてチームでの発表と意見交換を行った。	【令和3年度】 令和3年9月3日、10日 会場：オンライン開催 参加：23名 【令和4年度】 令和4年8月31日、9月7日開催 会場：成城大学 参加：25名
13	特別支援教育の専門家派遣試行	区立幼稚園において、特別支援教育に係るアドバイス等を行う。	【令和4年度】 令和5年1～3月に幼稚園と大学で実施内容を検討、令和5年度から本格実施
14	教育総合センター「STEAM教育講座」	プログラミングや科学実験など、各教科の知識や考え方を総合的に活用して課題解決をめざすSTEAM教育（科学、技術、工学、芸術、数学）に関する内容や創造する力をはぐくむことを目的に講座を実施する。	【令和4年度】 令和4年10月8日（土）14:30～16:00「地図で知る世田谷の地形」
15	防災時避難所運営研修会	教育総合センターにおいて、実際の避難所運営に近い形で相談や合意形成のプロセスなどを体験する「避難所運営ゲーム（HUG）」を行い、チームワークやコミュニケーションスキルの向上を図った。	【令和4年度】 国士館大学地域連携・社会貢献推進センター、防災・救急救助総合研究所と連携し、防災時避難所運営研修会を実施 日時：令和4年5月27日（金）9:30～11:30 会場：教育総合センター研修室1 参加者：教育総合センターに勤務する区職員

③【調査研究・事業の共同実施に関すること】			
No	事業名	事業概要	連携実績
1	大学生インターンシップ実習生受入れ事業	区の様々な部署で学生を実習生として受け入れることで、学生の職業意識の醸成や区政に対する理解の促進、学生の指導を通して区職員の資質向上を図る。	【平成30年度】 7月～9月に4名の学生を受入。 【令和元年度・令和3年度・令和4年度】 7月～9月に3名の学生を受入。
2	せたがや学生ボランティア ネットワーク	「せたがや学生ボランティア ネットワーク会議」を継続的に開催し、大学間や大学と区、地域等のネットワークを構築する。地域や区事業でのボランティア情報の提供により、大学生が地域人材として活躍し、地域とつながる場の提供や、大学が有する専門性及び地域資源を活用しながら、大学生の学びをフィードバックする機会とするなど、地域の課題解決に向けて、大学との連携・協力によるまちづくりを推進する。 さらに、大学生による活動事例の発表や、交流を目的としたイベント（年1回）を開催し、大学生によるボランティア活動への理解を深め、大学生の人材育成や地域参加・地域貢献の活性化を図り、大学との連携体制や実施体制を強化する。	【令和3年度～】 「せたがや学生ボランティア ネットワーク会議」、「せたがや学生ボランティアフォーラム」の開催、参加。
3	大学生のためのデートDV防止ファシリテーター養成講座	区内外の大学から受講生を募集し、中高生へ向けたデートDV防止啓発を行う大学生のファシリテーターを養成する。本講座を受講後は、らぶらす学校出前講座でのファシリテーターとして活躍することを目指す。	【令和4年度】 大学生インターンシップ受入時に、インターンシップ生を対象に実施。 国士館大学より1名が参加。
4	三軒茶屋駅周辺のまちづくり	三軒茶屋駅周辺において、広域生活・文化拠点として、にぎわいと活気に満ちた魅力ある拠点づくりに取り組んでいる。区民、事業者など様々な主体が連携してまちづくりに取り組むため、(仮称)三茶のミライ(三軒茶屋駅周辺まちづくり基本計画)の策定に向けて検討を進めている。	【平成30年度】 三軒茶屋駅周辺まちづくり有識者検討委員会への出席(6回) 【令和元年度】 三軒茶屋駅周辺まちづくり検討委員会への出席(2回) 三軒茶屋駅周辺まちづくり会議への参加(2回) 三軒茶屋駅周辺まちづくりシンポジウムへの参加(1回) 【令和2年度】 三軒茶屋駅周辺まちづくり検討委員会への出席(3回) 三軒茶屋駅周辺まちづくり会議への参加(1回) 【令和4年度】 社会実験を連携により実施(2回) 三軒茶屋駅周辺まちづくり会議への参加(2回)及び登壇(1回)
5	世田谷地域「地域交流ラボ」	世田谷地域にある大学に通う学生たちが地域の方々と交流しながら、各グループが設定したテーマについて調べ、研究成果やアイデアを地域に発表し、大学・学生と地域が顔見知りになるきっかけをつくる。	【令和元年度】 地域内の5大学に参加募集を行い、学生56名が参加。「防災」「健康」「観光」の3つの分科会でそれぞれ活動した。 【令和4年度】 地域内の5大学(昭和女子大学・国士館大学・東京農業大学・日本大学・駒澤大学)から参加があり、計76名の学生が活動した。 活動のテーマは「防災」。各大学が所在する地区を担当地区として、町会・自治会の方々のお話を聞くなど、交流・フィールドワーク等の調査研究活動を行った。そのほか、学生へのオリエンテーションとなるキックオフ会や成果報告会等の全体会も行った。

No	事業名	事業概要	連携実績
6	馬事公苑界わいコミュニティデザインプロジェクト (bajico)	「人と人とのつながり 心の豊かさの再確認」をキーワードに、行政、大学、地域住民、民間企業、NPO法人とが協働で、イベントを通じて地域コミュニティの促進を図り、地域の社会的課題の解決・より豊かで魅力的で強い地域をつくることを目的としたコミュニティデザイン事業。	【令和3年度～】 事業概要説明、イベント企画会議等、けやき広場でのイベントへの教員・学生の参加